

遠田雄志教授の略歴と主要業績

履歴

本籍地 東京都
 生年月日 1942年2月20日 (69歳)
 現住所 東京都台東区千束2-19-2

学歴

1960年3月 都立上野高等学校卒業
 1965年3月 法政大学工学部経営工学科卒業
 1967年3月 法政大学大学院社会科学研究科経済学専攻 修士課程修了 (経済学修士)
 1970年3月 全 博士課程単位取得満期退学

職歴

1969年4月 法政大学 研究助手
 1972年4月 法政大学 専任講師
 1974年4月 法政大学経営学部 助教授
 1977年8月 カリフォルニア大学バークレイ校留学 (1978年7月まで)
 1981年4月 法政大学経営学部 教授 (「組織認識論」担当)
 1981年4月 法政大学大学院社会科学研究科経済学専攻 (「経営学特殊研究」担当)
 (1992年3月まで)
 1988年4月 防衛大学校人文・社会科学専攻 非常勤講師 (「管理学各論Ⅲ」担当)
 (1995年3月まで)
 1991年4月 信州短期大学経営学科 非常勤講師 (「情報トレンド」担当)
 (1992年3月まで)
 1992年4月 法政大学大学院社会科学科経営学専攻 (「組織認識論」「経営学基礎」担当)
 (2011年3月まで)
 経営学部長
 (1993年3月まで)
 1993年4月 放送大学産業と技術専攻 非常勤講師 (「経営監理」担当)
 (2000年3月まで)
 1998年3月 私塾 ○塾 開設
 2011年3月 法政大学 退職

学会

1969年4月 日本オペレーションズ・リサーチ学会会員
 1969年4月 日本経営学会会員
 1979年4月 組織学会会員
 1985年4月 経営哲学学会会員

主要業績

- 著書 『企業理論入門』（中央経済社, 1980年）
『あいまいだからおもしろい』（有斐閣, 1985年）
『あいまい経営学』（日刊工業新聞社, 1990年）
『組織の認識モード』（編著, 税務経理協会, 1996年）
『私, あいまい系です』（同朋舎, 1997年）
『グッバイ! ミスター・マネジメント』（文眞堂, 1998年）
『ポストモダン経営学』（編著, 文眞堂, 2001年）
『組織を変える〈常識〉』（中公新書, 1789, 2005年）
- 訳書 『組織におけるあいまいさと決定』（J・G・マーチ, J・P・オルセン著, A・ユングと共訳, 有斐閣, 1986年）
『イノベーションの本質』（L・H・リン著, 東洋経済新報社, 1986年）
『「あいまい性」と作戦指揮』（J・G・マーチ, R・W・ベイロン著, 鎌田伸一, 秋山信雄と共訳, 東洋経済新報社, 1989年）
『あいまいマネジメント』（J・G・マーチ著, 土屋守章と共訳, 日刊工業新聞社, 1992年）
『やわらかな制度』（J・G・マーチ, J・P・オルセン著, 日刊工業新聞社, 1994年）
『組織化の社会心理学』（K・E・ワイク著, 文眞堂, 1997年）
『センスメーカー・イン・オーガニゼーションズ』（K・E・ワイク著, 西本直人と共訳, 文眞堂, 2001年）

論文その他

- 1967年1月 (修士論文)「作業研究—その歴史的考察と二つの課題—」
1970年1月 (論文)「作業研究についての一考察—A. Abruzzi の所説を中心にして—」法政大学経営学会『経営志林』第6巻第3・4号4合併号
1971年1月 (研究ノート)「チームの理論」法政大学経営学会『経営志林』第7巻第4号
1971年7月 (研究ノート)「2品種生産企業のチーム モデル」法政大学経営学会『経営志林』第8巻第2号
1971年10月 (研究ノート)「リニャー チーム モデル」法政大学経営学会『経営志林』第8巻第3号
1972年1月 (研究ノート)「チーム モデル—IV」法政大学経営学会『経営志林』第8巻第4号
1972年6月 (論文)「チームの理論研究序説」法政大学経営学会『経営志林』第9巻第2号
1973年4月 (研究ノート)「D.P.による最適製品化政策の決定—学習効果のある場合—」法政大学経営学会『経営志林』第10巻第1号
1974年5月 (研究ノート)「D.P.による最適製品化政策の決定—収入逡減効果のある場合—」法政大学経営学会『経営志林』第11巻第1号
1975年3月 (紹介)“Jacob Marschak and Roy Radner, Economic Theory of Teams, 1972”法政大学経営学会『経営志林』第11巻第4号
1976年4月 (研究ノート)「チームの決定問題—2次効用関数の場合—」法政大学経営学会『経営志林』第13巻第1号
1977年1月 (論文)「Fuzzy 選択モデル」法政大学経営学会『経営志林』第13巻第4号
1978年5月 (論文)“Discriminative Effect of Information”—The Third Measure of Information—Memorandum No. UCB/ERLM78/62, Univ. of California, Berkeley
1978年10月 (論文)“A Measure for the Discriminative Effect of Information” Proceedings of the 1978

- 1979年3月 Joint Automatic Control Conference Volume III, '78 Joint Automatic Control Conference (OR 学会発表)「あいまい決定モデル」日本オペレーションズ・リサーチ学会『1979年度春季研究発表会アブストラクト集』
- 1979年4月 (論文)「あいまい決定モデル—イノベーションと関連して—(I)」法政大学経営学会『経営志林』第16巻第1号
- 1979年6月 (組織学会発表)「あいまい決定モデル」組織学会『組織学会研究発表大会報告要旨』
- 1979年7月 (論文)「あいまい決定モデル—イノベーションと関連して—(II)」法政大学経営学会『経営志林』第16巻第2号
- 1979年11月 (論文)「情報の弁別効果—情報の第3の測度—(I)」法政大学経営学会『経営志林』第16巻第3号
- 1980年3月 (論文)「情報の弁別効果—情報の第3の測度—(II)」法政大学経営学会『経営志林』第16巻第4号
- 1980年7月 (論文)「あいまい決定論」法政大学経営学会『経営志林』第17巻第2号
- 1981年1月 (紹介)“James G. March and Johan P. Olsen, Ambiguity and Choice in Organizations, Universitets-forlaget, 1976”法政大学経営学会『経営志林』第17巻第4号
- 1981年4月 (論文)「組織の意思決定(上)」法政大学経営学会『経営志林』第18巻第1号
- 1981年7月 (論文)「組織の意思決定(下)」法政大学経営学会『経営志林』第18巻第2号
- 1981年7月 (書評)“J. G. March and J. P. Olsen, Ambiguity and Choice in Organizations, 1976.”日本オペレーションズ・リサーチ学会『オペレーションズ・リサーチ』第26巻第7号
- 1982年4月 (紹介)“Michael D. Cohen and James G. March, Leadership and Ambiguity, The American College President, McGraw-Hill, 1974.”法政大学経営学会『経営志林』第19巻第1号
- 1982年5月 (発表)「組織の意思決定—J.G.マーチのゴミ箱モデルを中心に—」昭和57年度組織学会研究発表大会(松山商科大学)
- 1982年10月 (論文)「組織と情報(I)」法政大学経営学会『経営志林』第19巻第3号
- 1983年3月 (論文)「組織と情報(II)」法政大学経営学会『経営志林』第19巻第4号
- 1983年4月 (論文)「組織と情報(III)」法政大学経営学会『経営志林』第20巻第1号
- (書評)Stanislav Andreski, The Social Sciences As Sorcery, St. Martin's Press, 1972 [矢沢修次郎・熊谷苑子訳, 『社会科学の神話』日本経済新聞社, 昭和58年], 法政大学経営学会『経営志林』第20巻第1号
- 1983年6月 (発表)「ゴミ箱式決定と情報」昭和58年度組織学会研究発表大会(筑波大学)
- 1983年7月 (論文)「組織と情報(IV)」法政大学経営学会『経営志林』第20巻第2号
- 1983年10月 (論文)「組織と情報(完)」法政大学経営学会『経営志林』第20巻第3号
- 1984年1月 (発表)「科学から空想へ」OR学会『OR/MS研究部会報告』(東工大)
- 1984年5月 (報告)企業行動コンファレンス「ドラマとしての組織」日本経済新聞社
- 1985年6月 (講演)「あいまいだからおもしろい」流通経済研究所『流通経済』'85.11月号
- 1985年10月 (研究ノート)「組織意思決定の素顔」出版ニュース社『出版ニュース』'85.10月下旬号
- 1986年4月 (紹介)“How Japan Innovates, by L.H. Lynn”法政大学経営学会『経営志林』第23巻第1号
- 1986年7月 (報告)「あいまいさのもとでの意思決定」あいまいさを含む実システムの評価とモデリングに関する研究会『EMRAS』(東工大)
- 1986年9月 (報告)「ゴミ箱モデルとその意義—新しい組織理論の考え方—」組織学会定例研究会『組織科学』Vol.20. No.3『学会通信』No.18
- 1986年10月 (論文)「いま、なぜ、ゴミ箱モデルなのか」法政大学経営学会『経営志林』第23巻第3号
- 1987年1月 (分担執筆)「あいまいさのもとでの意思決定」中央経済 野中郁次郎・寺本義也編著

『経営監理』

- 1987年1月 (書評) エリッヒ・ヤンツ著「自己組織化する宇宙」法政大学経営学会『経営志林』第23巻第4号
- 1987年4月 (論文)「GNP1%枠」にみるゴミ箱過程 法政大学経営学会『経営志林』第24巻第1号
- 1987年4月 (資料) トマス・オリヴァー著『コカ・コーラの英断と誤算』(1986)にみるゴミ箱過程 法政大学経営学会『経営志林』第24巻第1号
- 1987年5月 (報告)「ゴミ箱モデル—その意義と展望—」経営研究所 経営組織研究会例会(第5回)
- 1987年7月 (Forum)「組織変革—アイドルに乾杯—」流通産業研究所『流通産業』19巻7号
- 1987年7月 (報告)「ゴミ箱モデルとその展望—人間の顔をした組織とは?—」法政大学経営学会研究会
- 1987年10月 (資料)「杉山隆男著『メディアの興亡』(1986)にみるゴミ箱過程」法政大学経営学会『経営志林』第24巻第3号
- 1987年11月 (報告)「アイドルに乾杯」久留米大学商学部 久留米大学公開講座
- 1988年1月 (研究ノート)「組織意思決定のプロフィール」法政大学経営学会『経営志林』第24巻第4号
- 1988年3月 (論文)「あいまいさと組織意思決定」総合研究エムラス『あいまいさを含む実システムの評価とモデリングに関する研究』
- 1988年5月 (報告)「新しい意思決定のメカニズムを考える—ゴミ箱理論の意義」経営研究所 人材開発専門研究会
- 1988年7月 (書評) 加護野忠男『組織認識論』法政大学経営学会『経営志林』第25巻第2号
- 1988年10月 (論文)「ファジィか、アンビギュエティか?それがあいまいだ」法政大学経営学会『経営志林』第25巻第3号
- 1988年10月 (書評) 小橋康章『決定を支援する』法政大学経営学会『経営志林』第25巻第3号
- 1989年 (エッセー)「危険な話」法政大学『新しい友へ』
- 1989年2月 (エッセー)「あいまいだからゴミ箱モデル」電通『電通報』1989. 2. 16号
- 1989年2月 (書評) 中村雄二郎他『ファジィ—新しい知の展開』電通『電通報』1989. 2. 20号
- 1989年4月 (論文)「ファジィ—新しい知の展開か?」法政大学経営学会『経営志林』第26巻第1号
- 1989年7月 (論文)「純粹調査批判—新しい意思決定理論の展開のために」法政大学経営学会『経営志林』第26巻第2号
- 1989年10月1日 (エッセー)「行きはよいよい」西社研『西社研だより』3号
- 1989年10月 (書評) Morton, Rhue, The Wave, Dell Publishing, 1981 [小柴一訳『ザ・ウェーブ』新樹社 1988年] 法政大学経営学会『経営志林』第26巻第3号
- 1989年11月 (論文)「“イナクトメント+ゴミ箱”モデル」ダイヤモンド社『DIAMOND ハーバード・ビジネス』1989. 10~11.
- 1989年11月21日 (報告)「あいまいと意思決定」早稲田大学システム科学研究所 ソフトな情報研究部会
- 1990年1月6日 (報告)「曖昧さと意思決定」ICS研究会 ICS Winter Symposium '89
- 1990年3月11日 (対談)「あいまいだからおもしろい」NHK NHKR2「いま教育へのメッセージ」
- 1990年4月 (研究ノート)「おもしろい理論づくりのために」法政大学経営学会『経営志林』第27巻第1号
- 1990年5月 (対談)「「ゴミ箱モデル」は意思決定のあいまいさの有効性を明らかにします」日刊工業新聞社『トリガー』Vol.9 No.5

- 1990年5月17日 (報告)「経営者の役割」経営研究所 経営組織研究会5月例会
- 1990年6月16日 (報告)「あいまい経営学—現代の経営を考える」第3回法匠セミナー
- 1990年6月21日 (エッセイ)「“あいまい”だからダイナミック」電通『電通報』
- 1990年6月23日 (学会報告)「純粋調査批判—新しい意思決定理論の展開のために」組織学会研究発表大会
- 1990年7月 (書評)佐伯胖・佐々木正人編『アクティブ・マインド』法政大学経営学会『経営志林』第27巻第2号
- 1990年7月24日 (報告)「ゴミ箱モデルについて」名古屋大学 名大経済学部経済学会ワークショップ
- 1990年10月 (書評&研究ノート)西山賢一著『「生きているシステム」の経営学』法政大学経営学会『経営志林』第27巻第3号
- 1991年1月18日 (報告)「ザ・イメージ」JIMA 経営意思決定支援システム研究部会
- 1991年3月29日 (報告)「環境の解析不可能性とは何か」神戸製鋼 ヒューマン・クリエイト研究部会
- 1991年4月 (研究ノート)「エコロジカル・デザイン・セオリー」法政大学経営学会『経営志林』第28巻第1号
- 1991年4月 (書評)田中政光『イノベーションと組織選択』法政大学経営学会『経営志林』第28巻第1号
- 1991年5月18日 (コメント)「21世紀をみつめて」西日本社会経済研究会
- 1991年6月1日 (コメンテーター)大村一朗「公式組織におけるあいまい性の原理」1991年度・春季組織学会
- 1991年7月 (書評)野中郁次郎『知識創造の経営』法政大学経営学会『経営志林』第28巻第2号
- 1991年8月27日 (報告)「サード・ウェーブ・イン・マネジメント」富山県生産性本部 経営手法研究会
- 1991年10月 (研究ノート)「異常組織論への誘い(1)—小説『蠅の王』より—」法政大学経営学会『経営志林』第28巻第3号
- 1991年10月15日 (報告)「ポストモダンマネジメント」大阪電通 マスコミ調査研究会
- 1991年11月 (書評)石川昭・三重野博司編著『ファジィ経営入門』日本ファジィ学会『日本ファジィ学会誌』第3巻第4号
- 1991年11月30日 (エッセイ)「ジャングル物語—ひとつのアレゴリー—」神鋼ヒューマン・クリエイト『クオレ』第3巻第4号
- 1992年1月 (書評)三菱総合研究所『環境創造の経営』法政大学経営学会『経営志林』第28巻第4号
- 1992年3月27日 (講演)「あいまい三昧,そして三昧」郵政省電気通信研修所
- 1992年4月 (エッセイ)「マンション殺人事件—動く証拠」神鋼 H.C.『クレオ』1992年第1号
- 1992年4月2日 (講演)「元気の出る経営学」経営研究所
- 1992年4月 (研究ノート)「異常組織論への誘い(2)—ジョージ・オーエル『動物農場』より—」(法政大学経営学会『経営志林』第29巻第1号)
- 1992年5月21日 (エッセイ)「さようなら,ミリタリー・メタファー」電通『電通報』
- 1992年5月27日 (講演)「思いっきり経営のすすめ」横浜II世会
- 1992年6月19日 (講演)「異常組織論の試み」組織学会定例研究会
- 1992年6月 (エッセイ)「常識を逸脱するための“あいまいさ”」日本商工振興会『商工につぼん』
- 1992年7月20日 (エッセイ)「これからの高専の社会科教育に期待するもの」工業高等専門学校協会教育方法改善専門委員会(社会科部会)『高専の社会科教育』

- 1992年7月23日 (講演)「ファッション流通に求められるゴミ箱組織の創造性」Tom『101 Future Club』
- 1992年7月 (エッセイ)「KISS」経営研究所『人材開発』第9巻第5号
- 1992年7月 (研究ノート)「異常組織論への誘い(3) —トロッキー『裏切られた革命』より」法政大学経営学会『経営志林』第29巻第2号
- 1992年10月 (エッセイ)「否・常識発想が多忙な男を救う」日本商工振興会『商工につぼん』
- 1992年10月21日 (研究ノート)「異常組織論の試み」法政大学産業情報センター『ワーキングペーパー』No.24
- 1992年11月2日 (エッセイ)「曖昧三昧の記」法政大学産業情報センター『ワーキングペーパー』No.25
- 1992年11月 (エッセイ)「コミュニケーションからコラボレーションへ」神鋼ヒューマン・クリエイト『CREO』1992年第2号
- 1993年1月12日 (論文)「平成年度創造的護美箱模型」法政大学産業情報センター『ワーキングペーパー』No.26
- 1993年1月21日 (講演)「あいまいについて—ファジィ, アンビグイティ, イクイボカリティ—」東北学院大 TG 経済研究会
- 1993年2月 (分担執筆)「ファジィとアンビグイティ」オーム社 石川 昭編『社会・人文学のためのあいまいとファジィ』
- 1993年3月17日 (講演)「新しい意思決定論—ゴミ箱モデルについて」野村総研システムリサーチ本部
- 1993年4月 (研究ノート)「新釈・忠臣蔵—失敗の危機管理—(序)」法政大学経営学会『経営志林』第30巻第1号
- 1993年7月 (研究ノート)「新釈・忠臣蔵—失敗の危機管理—(破)」法政大学経営学会『経営志林』第30巻第2号
- 1993年7月 (書評)「堺屋太一『組織の盛衰』」法政大学経営学会『経営志林』第30巻第2号
- 1993年8月 (講演)「忠臣蔵と危機管理」神奈川県工業協会
- 1993年10月 (研究ノート)「新釈・忠臣蔵—失敗の危機管理—(急)」法政大学経営学会『経営志林』第30巻第3号
- 1993年12月 (エッセイ)「なにかおもしろいことないか仔猫ちゃん」神鋼ヒューマンクリエイト『クレオ』12月号
- 1994年2月 (パネラー)「中国経済の行方とアジア経済」佐賀国際セミナー
- 1994年3月 (研究ノート)「改訂・ゴミ箱モデル」法政大学経営学会『経営志林』第30巻第4号
- 1994年6月 (学会報告)「改訂・ゴミ箱モデル」日本組織学会(於公立青森大学)
- 1994年7月 (研究ノート)「窯変・K・ワイク『組織化の社会心理学』第2版—1—」法政大学経営学会『経営志林』第31巻第2号
- 1994年10月 (研究ノート)「窯変・K・ワイク『組織化の社会心理学』第2版—2—」法政大学経営学会『経営志林』第31巻第3号
- 1995年1月 (研究ノート)「窯変・K・ワイク『組織化の社会心理学』第2版—3—」法政大学経営学会『経営志林』第31巻第4号
- 1995年2月5日 (研究報告)「ポストモダンの経営学」税務経理協会
- 1995年4月 (研究ノート)「窯変・K・ワイク『組織化の社会心理学』第2版(1979)—4—」法政大学経営学会『経営志林』第32巻第1号
- 1995年7月 (論文)「いま、なぜ、ワイクなのか?」法政大学経営学会『経営志林』第32巻第2号

- 1995年7月 (研究ノート)「窠変・K・ワイク『組織化の社会心理学』第2版(1979) — 5 —」法政大学経営学会『経営志林』第32巻第2号
- 1995年10月 (研究ノート)「窠変・K・ワイク『組織化の社会心理学』第2版(1979) — 6 —」法政大学経営学会『経営志林』第32巻第3号
- 1995年10月14日 (学会発表)「いま、なぜ、ワイクなのか? —ポスト・モダンの経営学にむけて—」日本組織学会
- 1995年12月8日 (研究報告)「忠臣蔵と危機管理」経営研究所
- 1996年1月 (研究ノート)「窠変・K・ワイク『組織化の社会心理学』第2版(1979) — 7 —」法政大学経営学会『経営志林』第32巻第4号
- 1996年4月 (研究ノート)「窠変・K・ワイク『組織化の社会心理学』第2版(1979)」法政大学経営学会『経営志林』第33巻第1号
- 1996年6月 (論文)「ポスト・モダン経営学」組織学会『組織科学』
- 1997年4月10日 (編著)「A History of Management Thought」AyA
- 1997年6月15日 (用語解説)「田島壮幸編『経営学用語辞典』(意思決定, ゴミ箱モデル, コミュニケーション他) 税務経理協会
- 1997年7月27日 (報告)「視聴覚教材による授業について」私大連盟『1997年度 大学教育授業を考えるワークショップ報告書』
- 1997年11月3日 (報告)「ゴミ箱理論をめぐって」富士短大校友会研究会
- 1997年10月~1998年1月 (論文)「異常組織論 I~II」法政大学経営学会『経営志林』第34巻第3号~第4号
- 1998年5月24日 (報告)「ポストモダン・マネジメントについて」第6回経営学史学会(青森公立大)
- 1998年7月2日 (講演)「映画『八甲田山』に見るミドルの役割」神奈川県 平成10年度課長級職員研修講座
- 1998年7月 (エッセイ)「ビデオで授業を」法大通教部『法政通信』
- 1998年10月12日 (論文)「反常識, あいまい行動学入門」講談社, 加藤寛他編『ザ・ネクスト』
- 1998年10月 (論文)「点と線と図—カール・ワイクの世界(1)—」法政大学経営学会『経営志林』第35巻第3号
- 1999年1月 (論文)「けったいな! —カール・ワイクの世界(2)—」法政大学経営学会『経営志林』第35巻第4号
- 1999年3月20日 (報告)「シンポジウム『教育から学習へ』」東海大学出版会『大学の教育・授業の変革と創造』
- 1999年3月 (論文)「映画『八甲田山』に見るミドルの役割」法政大学産業情報センター『グノーシス』Vol.8
- 1999年4月10日 (論文)「心の中の経営」文真堂, 佐々木恒男編著『経営学の基本問題』
- 1999年10月 (論文)「合理主義のパラドックス」法政大学経営学会『経営志林』第36巻第3号
- 2000年3月 (論文)「東海村臨界事故—その組織認識論的考察—(高橋量一と共著)」法政大学産業情報センター『グノーシス』Vol.9
- 1999年7月27日 (講演)「組織の意思決定」神奈川県, 平成11年度課長級職員研修講座
- 2000年6月29日 (講演)「リストラから見えてくるもの」足立区立中学校長会研修会
- 2000年7月1日 (報告)「組織認識論への誘い」解釈学的経営情報学研究部会第5回ワークショップ
- 2000年10月2日 (論文)(高橋量一と共著)「阪神大震災—その組織認識論的考察—」法政大学産業情報センター『ワーキング・ペーパー・シリーズ』No.93
- 2000年12月12日 (報告)「ポストモダン経営学における組織の適応モデル」法政大学経営学研究会

- 2001年1月2日 (エッセー)「21世紀の経営におけるミドルの役割とは」産能大出版『ディベロプメント』2001年2月号
- 2001年1月 (論文)「組織の適応モデル」法政大学経営学会『経営志林』第37巻第4号
- 2001年3月 (論文)(高橋量一と共著)「ウラン加工工場臨界事故調査委員会報告書—その組織認識論的考察—」法政大学産業情報センター『グノーシス』
- 2001年5月18日 (講演)「経営学の歴史と組織認識論の重要性」法政大学産業情報センターエクステンションカレッジ
- 2001年5月25日 (講演)「ビジネス環境をどう認識するか」法政大学産業情報センターエクステンションカレッジ
- 2001年6月27日 (講演)「改革—もう一つのアプローチ」第1回神奈川県医師会職員研修会
- 2002年4月～10月 (論文)「組織の適応理論 (I)～(III)」法政大学経営学会『経営志林』第39巻第1～3号
- 2003年8月5日 (講演)「現代経営学を問う」安田生命21世紀塾／第13期
- 2003年9月9日 (講演)「失敗の危機管理」安田生命21世紀塾／第13期
- 2005年6月 (講演)「組織を変えるコミュニケーション」経営研究所『マネジメントトレンド』Vol.10, 2005. 9
- 2005年10月 (講演)「組織を変える〈常識〉」リーディングイノベーション
- 2006年1月 (インタビュー)「変革に不可欠なコミュニケーション」メディカルフレンド社『看護展望』Vol.31, 2006. 1
- 2006年3月 (エッセイ)「改革の風景〈1〉常識と互解」日本歯科医師会『日本歯科医師会雑誌』Vol.58, No.3
- 2006年4月 (エッセイ)「改革の風景〈2〉」日本歯科医師会『日歯連雑誌』2006年4月号
- 2006年5月 (エッセイ)「改革の風景〈3〉」日本歯科医師会『日歯連雑誌』2006年5月号
- 2006年7月 (研究ノート)「改革とコミュニケーション」法政大学経営学会『経営志林』第43巻第2号
- 2006年8月 (インタビュー)「タテ社会の功罪」YKKグループ『ザ・ネイバー』Vol.390
- 2007年4月 (書評)「笠谷 和比古 著『武士道と日本型能力主義』」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第1号
- 2007年10月 (論文, 共著)「いじめを組織論する」法政大学経営学会『経営志林』第44巻第3号
- 2007年11月 (講演)「企業は誰のものか?—H.サイモン理論をベースとして」日本公認会計士協会東京会
- 2008年10月18日 (学会発表)「組織化の進化モデル vs 組織の適応モデル」2009年度組織学会年次大会 (名古屋大学)
- 2009年3月 (論文)「組織を変えるコミュニケーション」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター 学術雑誌『イノベーション・マネジメント』No.6
- 2010年3月 (論文)「改訂・組織化の進化モデル vs 組織の適応モデル」明治大学経営研究所『経営論集』第57巻第3号
- 2010年9月6日 (報告)「江戸時代とシーボルト」ドイツ東洋文化研究協会 シーボルトゼミナール OAG ハウス東京
- 2010年1月～ (研究ノート)「組織論で読み解く 江戸時代 (1)～」(小川 格と共著)法政大学経営学会『経営志林』第46巻第4号～